



川崎いのちの電話

ひとりで悩まずに **044-733-4343**



KAWASAKI Halloween=川崎市川崎区

CONTENTS

特集

みんなちがってみんないい

～金子みすゞの詩に魅せられて～

作曲家・指揮者 大西 進 さん

ほっとひといき 「出会えたこと もらったもの」

インフォメーション

2018年度・第33期電話相談ボランティア募集
チャリティー寄席「柳家三三独演会」

(2018年3月18日開催)

vol. **91**

2017. 11. 1

自死遺族ほっとライン

044-966-9951

第2・4木曜：正午～午後4時

自殺予防 いのちの電話

0120-783-556

毎月10日・24時間無料
(午前8時～翌朝8時)

社会福祉法人 川崎いのちの電話

特集

みんなちがってみんないい

—私と小鳥と鈴と—

～金子みすゞの詩に魅せられて～

作曲家・指揮者 大西 進さん

明治36年生まれの子謡詩人金子みすゞは、才能を惜しまれつつも、26歳の若さでこの世を去りました。今、半世紀もの間埋もれていた遺稿が見出され、注目をあびています。

感性豊かな金子みすゞは、生きとし生けるものすべてに、温かいまなざしを向けて詩を書いています。そんなみすゞの全詩515編すべてに作曲し、全曲発表した大西進さんに聞きました。

みすゞの詩に魅せられて

『積った雪』

上の雪 / さむかろな。
つめたい月がさして。//
下の雪 / 重かろな。
何百人ものせて。//
中の雪 / さみしかろな。
空も^{じべた}地面もみえないで。



童謡詩人の金子みすゞは、自分のことをうたうより、まず先に相手のことをうたっています。それは、魚だったり、名もない雑草だったり、木や虫や鳥だったりしています。

小学校に、みすゞの詩を歌いに行った時のことです。この歌を聞いた子どもが、「中の雪は僕のことだ」と言うんですね。また、『私と小鳥と鈴と』の中での「みんなちがってみんないい」を聞いた子どもの感想文では、「僕はみんなと違って、いじめられていたけど、この歌を聞いて、ちがっていてもいいのだとはげまされた」と書かれていました。



(みすゞ 20歳)

金子みすゞ

本名・金子テル

童謡詩人

1903年4月11日、

山口県長門市仙崎

生まれ。

「みすゞ」の名で童謡を書き始め、西條八十に認められる。26歳の若さでこの世を去り、作品は埋もれてしまった。

その後、1982年に矢崎節夫さんにより、遺稿の手帳3冊が発見された。(写真提供:金子みすゞ著作権保存会)

『私と小鳥と鈴と』

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面^{じべた}を速くは走れない。

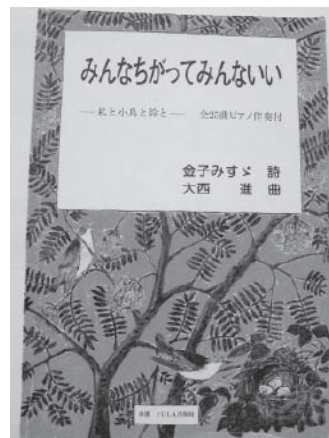


私からだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。



鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

私は童謡協会の会員で、以前、幼稚園、保育園、学校等いろんな所へ公演に行きました。どこに行ってもチューリップの「どの花みてもきれいだな」を歌っていました。そんな時に、みすゞの「みんなちがってみんないい」の詩に出会って、もっと具体的に言いたいことを表現しているので、「これはいい」と確信しました。みすゞの詩は読めば読むほど共感を覚え、みすゞの「みんなで生きていこう」という生き方に関心を持ち、みすゞの詩に魅せ



みすゞの楽譜集



大西 進（おおにし すすむ） 作曲家、指揮者、合唱指導。「三世代で歌えるうたを作りたい。一度聞いたら誰でも歌えるうたを作りたい」との思いで作曲し、特に金子みすゞの詩に惹かれ、その515編全てに曲をつける。「青い空は」をはじめ平和や自然・環境の歌、子どもの歌（NHKみんなの歌 カメレオン）など作曲数は約3000を超える。作曲活動とともに多くの合唱団を指導。1931年生まれ。三重県桑名市出身。

られていきました。

最初は、気に入った詩に1992年から作曲しました。みすゞは、5年間の間に515編を作ったので、自分もみすゞ生誕100年（みすゞは1903年生まれ2003年に生誕100年になる）までに、全詩に作曲をしたいと思い、改めて1999年から取り組み、2002年までに全曲を作成しました。

みすゞと童謡

みすゞが15歳の時（大正7年・1918年）に、童謡雑誌「赤い鳥」が創刊されました。また、その頃、外国からアンデルセンやグリム童話が日本に入ってきました。みすゞは、日本の童話だけでなく外国の民話もたくさん読んで、少女時代を過ごしました。

20歳になってから詩を作り始め、雑誌「童話」に第一作を投稿しました。一作目から西條八十（詩人・作詞家・仏文学者）に認められ、西條八十を頼りに「あなたに読んでもらえば」と、投稿をし続けました。投稿して生きる力を得ていました。

人間は、一人でも認めてくれる人がいれば生きていけるんですね。また、みすゞはある面では恵まれた環境と最盛期の童謡という、とてもよい時代に生きたといえます。

みすゞの詩に込められた想い

『土と草』

母さんの知らぬ/草の子を、/
なん千万の/草の子を、/
土はひとりで/育てます。//
草があおあお/茂ったら、/
土はかくれて/しまうのに。



雑草は役にたたないもの、抜いても抜いてもはびこっていかないもの。この役に立たないといわれているものにも、みすゞは優しい目を向

けています。また、草が大きくなり土は見えなくなっても、土は黙って草を育てているのです。

『夢売り』 抜粋

そしてやさしい/夢売りは、/
夢の買えない/うら町の、/
さびしい子等の/ところへも、/
だまって夢を/おいてゆく。



みすゞは、寂しい人のところにもさっと目がいくし、私はあなたのことを見ているよと書いています。認められない者、自分は役に立たない者ではないかと悩んでいる人に、みすゞは「生きているだけでいい」と詩で伝えています。こういうみすゞの優しさに触れた時、凄い衝撃を受けました。

今、戦争はないけれど、日本は若者の自殺率が世界でも上位にある時代です。命は奇跡の連続であり、生きているだけで素晴らしいのだと生きづらさを感じている人に伝えたい。一人ひとりが違って当たり前、違いを認めることを大前提とし、反対意見を持った人を排除するのではなく、自分と違った意見の人とも共に支え合って、一緒に生きていってほしいと思います。

みすゞの詩にはそんな気持ちが込められていると感じています。

みすゞと同じように優しい気持ちを持ったハンディのある方から、障害は不自由であるけど、障害は生きる希望を絶つものではないと、教えて貰ったことがあります。

1981年、国際障害者年で、全盲の方と出会い、初めて肩をかして街を歩きました。障害者が安心して暮らせる町、社会をめざすことを学び、デンマークにも行きました。その折、皮膚で感じ心で見えることを学び、当時デンマークで始まったばかりのゴール・ボール（今にきっとパラリンピックに入るから、普及に協力してと頼まれ）のボールとルー

ルブックを日本で最初に持ち帰り、文京盲学校に寄付しました。

みすゞの詩を世界へ

みすゞの詩をうたで世界に広めたいと、フランス、米国等にも行きました。中国では北京の合唱団が、米国では日米桜100周年を記念して、自作の組曲をNY・カーネギーホールで初公演をしました。2800人の大観衆の元、みすゞの歌も合唱し、スタンディングオベーションを受けました。フランスも米国も翻訳した資料を観客に配布して、内容を理解して貰いました。

みすゞ全集とアンネの日記

みすゞは、26才の時、弟と親と夫に遺書を書き残して、覚悟の死を遂げました。矢崎節夫さん(童謡詩人・金子みすゞ童謡館館長)によると、「娘を感性豊かな人に育てたい。だから、母ミチにあずけてほしい」と夫宛の遺書には書かれてあったので、娘の将来を思っただけの死だったのではないかと述べられています。

そして、みすゞは、自ら残したい詩をすべて、3冊の手帖に書き残しました。もし、それを託された西条八十と弟のいずれかが当時出版したとしたら、「全作品」でなく「選集」になったことでしょう。

アンネ・フランクの「アンネの日記」も同様でしょう。この二つの話は、それを大切に思っていた二人の働きがなければ、今、私たちは、その

すべてを知ることができなかったでしょう。アンネの日記は、ミーブ・ヒースさんが、みすゞの詩は、矢崎さんがその「すべて」を大切に思ったからではないでしょうか。

これからの子どもたちへ

私が生まれてから14才まで、日本は戦争をしていました。戦地には行かずにすみましたが、本土空襲や米軍機の機銃掃射を受ける「戦争体験」をしました。男は戦争で死ぬことが名誉であり、一番立派な生き方だと教えこまれました。

学校の歌もそのような気持ちをもつような歌でした。平和な時代になって、世界中の歌を知り歌うようになり、子どものうたの作曲にも力を入れてきました。子どもの頃(10才まで)に覚えたうたは、生涯忘れません。だから、今、子どもに希望あるうたを、教育者、親、音楽家たちは力を合わせ作り出す必要があります。

その中の一つ、「金子みすゞのうた」を、一人でも多くの方にお聴き頂き、ご一緒に歌って頂きたいと思っています。



大西進さん率いる親子で歌うコーラスグループ

アラカルト 大西 進



1971年。「平和を願う新しいうた」、第17回原水爆禁止世界大会記念創作曲募集で大西進作曲・作詞小森香子「青い空は」が第一位になりました。

「青い空は」の曲は、現在では盲目の歌手の新垣勉・クミコ・デュークエイセス等、多彩な歌手が歌っています。

～青い空は 青いままで 子どもらに 伝えたい～と始まります。

また、自然環境にも関心があり、白神山地や知床の一坪運動や、海、川を綺麗にする歌も作りました。自然のままを残そうという活動です。

7月に亡くなられた、日野原重明さん(聖路加国際病院名誉院長)が3.11大震災を思って書いた「希望」に作曲し、日野原さんに聴いて頂いたことがあります。

☆金子みすゞの詩は、『金子みすゞ童謡全集』(JULA出版局)より転載しました。

出会えたこと もらったもの

電話相談員になれた頃の私の目標は「細く長く続けていければ」でした。仕事と趣味は優先。ペットが居るので泊りは不可。そうすると、電話当番と継続研修（電話相談員の資質向上のための研修）だけで、それ以上はとても無理、とっていました。

そんな私が初めて参加した継続研修グループで、その方に会いました。初回の日、皆が尻込みするような役割を次々引き受けてくれるのです。「いいわよ、私がやる」と、とても軽やかで楽しげで、私は少し圧倒される程でした。

彼女は「研修大好き」と言って、全国大会や、いろいろな研修に行っては、報告してくれました。「楽しかった」「素晴らしかった」と、キラキラと。継続研修は自然な流れで、研修や講演があった時は参加した人が報告し、グループの皆で考えたり話し合う場にな

りました。

その中にいるうち“私はとても無理”と思っていたフィルターが外れたようです。研修のお知らせを見て「この日、行けるかも」と思うようになりました。宿泊の研修も、聞いてみると1日だけ参加してもよいと言ってもらえました。そうやって実際に参加すると、思っていた以上に得るものが多く感激しました。それは、私が彼女から頂いた大きな宝物だと思います。

今も私の目標は「細く長く」です。仕事も趣味もペットも取り巻く状況も変わりません。それでも、できることを少しずつ積み重ねていったら、いつかやりたい自分になれるのでしょうか。彼女のように、軽やかに、楽しげに、前向きに。

（日和）

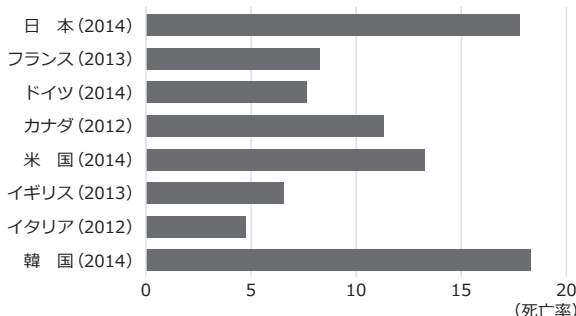
◎深刻な状況にある若い世代の自殺

平成28年版自殺対策白書(厚生労働省)から

平成27年の日本においては、15～39歳という学生や社会人として社会を牽引していかなければならない世代の死因の第1位は自殺となっています。特に20～24歳では死因の50.1%が自殺であり、25～29歳でも47.2%と大きな割合を占めています。

こうした状況は国際的にみても深刻であり、15～34歳の若い世代における自殺者の死亡率は先進諸国と比べて高いものとなっています。

若い世代（15～34歳）における自殺者の死亡率



※死亡率とは人口10万人あたりの死亡者をいう。
(世界保健機関資料より厚生労働省自殺対策推進室作成)

インフォメーション



あなたの力を貸してください ～第33期電話相談ボランティア募集～

川崎いのちの電話は昨年末に開局 30 周年を迎え、相談員は今日も受話器を取って、電話をかけてくる相談者の声に耳を傾け続けています。ですが、全国的に相談員数は減少しており、川崎でも電話ブースのすべてを埋められないのが現状です。

一人でも多くの方のコールに応えられるように、ぜひあなたの力をお貸しください。

相談ボランティアになるためには、まず公開講座（2018年2月開始）の受講が必要で、その後養成研修に進みます。

☆公開講座（基礎講義）受講料無料

どなたでも受講できますが事前申し込みが必要です

[日程] 2018年2月～3月の土曜日 全6回
(2/3 2/10 2/17 2/24 3/3 3/10)

[時間] 13:30～15:30 回によって変更になる場合がありますので必ずご確認ください

[会場] 川崎市内（武蔵小杉・武蔵溝ノ口近辺を予定）

[講座の内容] ボランティア、精神医学、家族関係、こどもの問題、自殺の問題など

☆養成講座

[応募資格] 23歳以上（2018年4月1日現在）公開講座を4講座以上受講した方

[研修期間] 2018年5月～2019年8月

[研修費用] 53,000円（予定）ほかに宿泊研修費用がかかります。

[受講申し込み] 公開講座期間中に会場で受け付けます

問い合わせは、川崎いのちの電話事務局へ

TEL 044-722-7121（平日 10:00～17:00）

*詳細は決定次第、ホームページに掲載します。

<http://kawasaki-inochinodenwa.jp/>

*募集開始は2017年12月1日（金）募集要項（公開講座受講申込）は川崎市内の市役所・区役所・図書館などの公的な場所に置く予定。

又は上記ホームページからも申し込みめます。



川崎いのちの電話チャリティー寄席／柳家三三独演会

[日時] 2018年3月18日（日）開演 13:30

[会場] エポックなかはら（川崎市総合福祉センター）

[料金] 3,500円（全席指定）

[出演者] 柳家三三、春風亭ぴっかり☆、春風亭朝七、（ウクレレ漫談）びろき、（三味線）森本のり

[チケット] 2018年1月1日発売開始

資金ボランティアとしてのご支援を！

川崎いのちの電話の活動は皆様の温かいご支援によって運営されております。多くの方のご協力をお願いいたします。

賛助会費・一般寄付金とも所得控除など税制上の優遇措置の対象となります。

① 賛助会員（年会費）

法人	10万円	5万円	3万円	1万円	
個人	5万円	3万円	1万円	5千円	3千円

② 一般寄付（金額、回数を定めません）

[振込先] ■郵便振替 00240-2-36798

社会福祉法人 川崎いのちの電話

[問い合わせ] 川崎いのちの電話事務局

TEL: 044-722-7121（平日 10:00～17:00）

寄付感謝報告

2017年5月～
2017年8月

川崎いのちの電話のために、温かい資金援助をいただきました。心から感謝し、ご報告いたします。この事業の発展にこれからもご協力くださいますようお願い申し上げます。

[個人]

(5月)	戸張道也	匿名 2名	佐藤史朗	越水正明	西村俊子	大島良	深瀬茂子
(6月)	片山世紀雄	鑄木昌代	小関裕司	常松恭子	金子顕	近藤和子	瀨橋慶子
	鑄木昌代	片山世紀雄	小関真紀	松岡光子	笹山久子	(8月)	石高橋子
	瀧野修	片山世紀雄	中村文子	榎山勝雄	村上カズコ		金子圭
	稲葉武	近藤八千代	栗井清	浅田美子	野島名菜子	河合徹子	
	久保美矢子	小林美年子	梶川明美	島典子	保坂博子	小川祐一	
	尾根恒	瀬森尚羊	松岡奎	布施喜作	酒井靖恵	西山和美	
	竹内光代	山本直正	伊藤幸助	中村幸代	小泉正博	高村真美	
		杉浦初子	(7月)	長塚いつ	小山明子	露木知美	
						門脇美智子	

[団体]

カトリック百合ヶ丘教会 日本基督教団向河原教会 神奈川県精神保健福祉協会 書道部 募金箱

[10万円以上の個人・法人及び各種団体]

川崎富士見ライオンズクラブ(10万円) 大本山川崎大師平間寺(10万円) (株)三泉 山田 眞三(10万円) チャリティー(企画部)(110万円) 新ゆり製作部(10万円)

合計 2,052,175円

編集後記

大西進さんとお会いしたのは「金子みすゞを歌う会」でした。その会は、みすゞのうたを歌うだけでなく、その時々のみすゞの心魂は多分こうだろうと話されたりもしています。今回のインタビューでは、多方面にわたりお話が聞けましたが、全部掲載することが出来ず残念です。いつまでも、若いお気持ちでいろいろなことにチャレンジしている姿を目の当たりにして、自分も、もう少し前向きに生きていかなくてははいけなと感じました。(S)

子ども達にいい歌を聞かせたい。いい歌を歌ってもらいたい。子どもの頃に歌った歌は、その子の人生を未来を豊かなものにするのだと。大西さんは子どもの頃の戦争体験から、歌がどんなに大切なもので、子ども達にとって大事な事か。そして、子ども達とすべての人の希望と平和の為にという強い思いが、みすゞのやさしい詩と出逢い、すべての詩に作曲をするというとても無い事をなさいました。大西さんの情熱と努力に心から感謝いたします。(N)